
ギャグありシリアルアスありバトルありのお気に入りキャラで逃走中

ソニック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ギャグありシリアスありバトルありのお気に入りキャラで逃走中

【Zコード】

Z9383Z

【作者名】

ソニック

【あらすじ】

舞台は未来大都市レールシティ

そこで様々な逃走者がバトルありの逃走劇を行つ
果たして誰が逃げ切れるか

逃走者紹介（前書き）

逃走者の紹介

逃走者紹介

スマブラX	マリオ	ルイージ	クッパ	ピーチ	スマブラX
ネス	ワリオ	マルス	アイク	クッパ	マリオ
リュカ	マルス	マルス	ネス	ピーチ	ルイージ
ゲーム&ウォッチ	ロボット	ロボット	リュカ	クッパ	スマブラX
カービィ	カービィ	メタナイト	ゲーム&ウォッチ	ピーチ	マリオ
デデデ	ピカチュウ	デデデ	ロボット	ルイージ	ルイージ
ルカリオ	ドンキーコング	メタナイト	カービィ	ネス	スマブラX
ファルコ	ディディーコング	デデデ	ピカチュウ	リュカ	マリオ
ウルフ	フォックス	カービィ	ドンキーコング	マルス	ルイージ
サムス・アラン	ファルコ	ピカチュウ	ディディーコング	ワリオ	スマブラX
リンク	ウルフ	ルカリオ	フォックス	マルス	マリオ
ゼルダ	サムス・アラン	ドンキーコング	ディディーコング	ロボット	スマブラX
トゥーンリンク	リンク	ディディーコング	カービィ	カービィ	ルイージ
スネーク	ゼルダ	フォックス	ピカチュウ	ルイージ	スマブラX

ソニック	ソニック・ザ・ヘッジホッグ
シャドウ・ザ・ヘッジhog	シャドウ・ザ・ヘッジホッグ
シルバー・ザ・ヘッジhog	シルバー・ザ・ヘッジホッグ
マイルス・テイルス・パウアー	マイルス・テイルス・パウアー
ナックルズ・ザ・エキドウナ	ナックルズ・ザ・エキドウナ
エミー・ローズ	エミー・ローズ
ルージュ・ザ・バット	ルージュ・ザ・バット
ベクター・ザ・クロコダイル	ベクター・ザ・クロコダイル
エスピオ・ザ・カメレオン	エスピオ・ザ・カメレオン
チャーミー・ビー	チャーミー・ビー
ブレイズ・ザ・キャット	ブレイズ・ザ・キャット
ロックマンX	ロックマンX
エックス(コマンドミッション)	エックス(コマンドミッション)
ゼロ	ゼロ
アクセル	アクセル
スペイダー	スペイダー
マッシモ	マッシモ
マリノ	マリノ
シナモン	シナモン
ドラゴンボール	ドラゴンボール
孫悟空	孫悟空
ベジータ	ベジータ
トランクス(未来)	トランクス(未来)
孫悟飯	孫悟飯
ピッコロ	ピッコロ
バーダック	バーダック

ブロリー
パラガス

ぶよぶよ

アルル・ナジヤ

アミティ

あんどうりんご

ラフィーナ

シグ

レムレス

クルーケ

アコール先生

フェーリ

シェゾウイグイイ

ドラコ・ケンタウロス

サタン

ルル

ウイッチ

リデル

ロックマンゼロ

ゼロ（ロックマンXのゼロと同一人物のためロックマンゼロと書く
が他の皆はゼロと呼ぶ）

仮面ライダー龍騎

城戸真司

秋山蓮

仮面ライダーカブト

天道総司

加賀美新

仮面ライダー電王

モモタロス

ウラタロス

キンタロス

リュウタロス

デネブ

ジーク

仮面ライダーディケイド

門矢士

海東大樹

仮面ライダーW

左翔太郎

フイリップ

照井竜

仮面ライダー000

火野映司

アンク

伊達明

後藤慎太郎

ボーボボ

ボボボーボ・ボーボボ

首領パツチ

ところ天の助

魚雷ガール

でんじやいわじーわん

じーわん

孫
校長

ゲベ

マッシュル竹田

ステップ長谷川

この96名の逃走者で逃げ切れる者はいるか

逃走者紹介（後書き）

好きなアニメゲームキャラで逃走中よりも人数多いな、まいつか
感想をお願いします

オープニングゲーム（前書き）

本編スタート

オープニングゲーム

逃走劇の舞台は未来大都市レールシティ

広さはディズニーランドの2倍

レールシティで250分間の逃走劇が始まる

そして現在逃走者はハンターが封印している97の鎖が入ったハンターボックスの目の前にいる

その鎖は97本の内1本がハンターを放出するハズレの鎖で96名の逃走者は1人一本引かなければならぬ

なお鎖を引く順番はくじ引きで決める

全「せ」の

モモタロス「俺は50番か

シャドウ「27番・・・

アクセル「12番か・・・」

そして最初に鎖を引くのは

翔太郎「いきなり俺があ」

ハーフボイルド探偵左翔太郎だ・・

翔太郎「誰がハーフボイルドだ！！」

フィリップ「何一人で叫んでんだい翔太郎、早く鎖を引きたまえ」

翔太郎「あ、ああ分かつたじやあ黒で行くか」

ウイック「どうして？」

翔太郎「俺が使ってるジョーカーのガイアメモリと同じ色だからだ、
じゃあ引くぜ！！」

果たしてクリアかそれとも放出か

ジヤラ

翔太郎「よつしゃあ！…」

クリアだ

なおクリアした逃走者はボックスから離れた場所でスタートできる

2番目は

ルージュ「さて次は私の番ね…」

ルージュだ

ルージュ「じゃあカーキを引くわ」

クリアか放出か

ジヤラ

クリアだ

その後も

フォックス

トランクス

レムレス

天の助

ロックマンゼロ

海東

デネブ

ステップ長谷川

アンク

アクセル

と12人が鎖を引きクリアとなつた

13番目は

照井「よし、行くか」

照井竜だ

照井「赤を引く」

モモタロス「何でだ?」

照井「俺に質問するな」

モモタロス「んだと、このやうう……!」

アルル「まあまあ、落ち着いて」

ジヤラ

当たりだ

果たしてハズレの鎖を引くのは一体誰だ?

オープニングゲーム（後書き）

感想をお願いします

オープニングゲーム2（前書き）

ソーック「今回の逃走中はゼロが2人いるんだよな・・」

翔太郎「ああ、ロックマンXのゼロとロックマンゼロのゼロな、でも外見が違うよな」

フィリップ「翔太郎、ロックマンゼロの事は全部調べ尽くしたよ」

翔太郎「おお、そうか」

アミティ「教えて教えて」

フィリップ「ロックマンゼロの話の内容はロックマンXの出来事から100年後が特徴でゼロは妖精戦争と言う戦争を終わらせた後100年間封印されたがレジスタンスのシエルと言う科学者によつて目覚められた。確かにXシリーズのゼロとは同一人物でもあるが風貌と外見が違い記憶を失つておりXシリーズの出来事あまり覚えていないそのためかXシリーズよりクールになつているんだ。」

ナックルズ「なるほどな、でも100年間も封印されていたら記憶だつてそりや無くすわな」

りんご「フィリップ君、ロックマンゼロの方にもエックスは出てくるの？」

フィリップ「勿論出てくるよ、彼は2つを戦争を終結させた伝説の英雄として知られているんだ」

りんご「2つの戦争を終結させたの！？スゴッ！！」

フィリップ「でもこの話はロックマンXのパラレルワールドの出来事と言う可能性もあるんだ」

今回の前書きはロックマンゼロの事についてになりました
気を取り直して本編スタート

オープニングゲーム2

オープニングゲーム

次の14番目は

エスピオ「自分の番か」

エスピオだ

エスピオ「ここは自分同じ色と言つ事で紫を選ぶ」

果たしてクリアかそれとも放出か

ジヤラ

エスピオ「良し!」

クリアだ・・

15番目は

ルイージ「今度は僕だ・・」

ルイージだ

ルイージ「僕も縁を引くよせーの」

ジャラ

クリア

その後も

悟空

天道

ナックルズ

ウイッチ

蓮

ゲベ

の6名もクリアした

そして22番目は

クッパ「吾輩の番か・・・」

クッパだ

フィリップ「僕の予想では彼が放出をする可能性が高い」

フィリップ以外「マジで！？」

クッパ「うわあ、何か怖い・・・黄緑を選ぶか」

果たしてクリアかそれともフィリップの言つ通り放出か

クッパー行くぞ！！

ジヤラ

ガコン

放出だ

眞向「アヒト」、浅井の名前を呼んでいた。彼は、彼のことを「アヒト」と呼んでいた。

そしてハンターが5体解き放たれ残りの逃走者はハンターから逃げる

そしてハンターの標的は勿論

クッパだ

ハンターとの距離は縮んでいくそして

ポン

クツパ確保残り95人

クツパ「え」

フィリップの予想通りだ

プルルルルル

ナックルズ「確保情報・・・」

加賀美「クッパ確保・・・」「

ドラゴン「フィリップの予想が本当に当たったよスゴシ」「

これより250分間の逃走劇が始まった

オープニングゲーム2（後書き）

感想をお願いします

part - 1 (前書き)

本編スタート

遂に始まつた逃走中

250分間逃げ切れば賞金がもらえる

ただしハンターにつかまれば賞金は0

そして自首電話で自首をすればその分だけの賞金がもらえる

この未来大都市レールシティで250分間逃げ切れる者は誰だ

翔太郎「遂に始まつたか~、警戒は常にしとかないとな」

警戒心を持つハーフボイルド探偵

翔太郎「ハーデボイルドだ！！」

そこへ

ドンキー「お、翔太郎じゃないか」

翔太郎「おお、ドンキーか」

ドンキー「そう言えばお前の相棒すごかつたぞ」

翔太郎「フイリップの事か？」

ドンキー「ああ、ハンターを放出する奴がクッパだつて予想してその予想が当たったんだよ」

翔太郎「なるほど、あいつは調べたい事を全て調べる事だつてできるからな」

ドンキー「スゲエな、所でせつかくあつたんだし合流しないか」

翔太郎「おう、別にいいぜ」

翔太郎、ドンキーと合流

エックス「未来大都市というだけあって広いな」

りん」「うん、どこからハンターがくるか分からぬしね」

この2人はやはり一緒に行動していた

ソニック「気をつけろよアミティギツから出でくるか分からぬからな」

アミティ「うん！」

この2人もだ

見つかった

ハンター「・・・！－！」

そして

その彼の後ろにハンター

ゲーム時間を見るトウーン

トウーン「250分で長いな～」

トゥーン「・・・てオワア！！」

ハンターに気付き逃げるも距離が縮んで行くそして

ポンッ

トゥーンリンク確保残り94人

プルルルル

ロックマンゼロ「確保情報・・・」

天道「西エリアにて・・・」

マリオ「トゥーンリンク確保」

リンク「トゥーンが捕まつた！！」

フォックス「スマブラ側が早くも2人捕まつた」

果たして逃げ切れるものは誰だ

part - 1 (後書き)

次回は最初のミッションが来ます
感想をお願いします

part - 2 (前書き)

第一回 ションが始まる

？？？「フフ、さてまづ最初の//シションを発動するか

謎の男によつて東エリアのショッピングモールの扉付近に指紋認証装置とハンター20体のいるボックスが転送された

これよつ//シションがはつびつした

プルルルル

映司「お、メールだ、なになに・・//シション」

ルカリオ「これより220分になると・・・」

バーダック「ハンター20体が放出するお~おいまじかよ」

ボーボボ「それを阻止するには・・・」

マッシモ「東エリアのショッピングモールの扉付近にある指紋認証装置を20人認証をしなければならない」

ウラタロス「行くか行かないかは自由だ、これはやばいね」

ミッション

ハンター20放出を阻止せよ

これより220分になるとハンターが20体放出する

それを阻止するには東エリアのショッピングモールの扉付近にある指紋認証装置を20人が認証しなければならない

行くか行かないかは逃走者の自由だ

ゼロ「良じ、行くか！？」

シャドウ「行くか

アゴール先生「畠さんのために行きました

ラフィーナ「行きますわー！」

伊達「行こつか後藤ちゃん

後藤「はい、伊達さんー！」

マッシモ「良じ、この鋼鉄のマッシモ良こと見せるやーー！」

カービィ「誰かがいくでしょう

ワリオ「誰が行くかつーの

バラガス「怖いから行かない

行くものがいれば行かない者もいる

映司「あ、いた、お~いアンク」

アンク「やつと来たか」

この2人は待ち合わせをしたようだ

映司、アンクと合流

映司「所でアンクミッショソの方行くか?」

アンク「そうだな、ハンターが20体は厄介だからな

映司「良し、じゃあ早速行こう!」

シルバー「ん？これが指紋認証装置で」

偶然指紋認証装置を見つけたシルバー

シルバー「良し、早速認証するか！！」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

認証完了残り19人

シルバー「偶然だけど、良し！！」

プルルルルル

ピッコロ「認証完了残り19人」

ナックルズ「早えな」

アルル「誰がやつたんだろう?」

ブレイズ「・・・私も行くか」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 2 (後書き)

感想をお願いします

part - 3 (前書き)

現在指紋認証残り19人

真司「指紋認証装置は確か東エリアのショッピングモールの扉付近にあるって言つてたよな」

彼も認証装置を探している

プルルルルル

スパイダー「ん?、通達か・・・」

モモタロス「これよりレールシティのどこかにアイテムが設置した。
・
・
・」

ルージュ「そのアイテムは君たちの逃走に役立つだろう、アイテム

ねえ「

通達

これよりレールシティにアイテムが入った宝箱が設置された

そのアイテムはエリアの設置され見つけたアイテムは逃走者たちの役に立つだろう

ロックマンゼロ「……ん?、宝箱」

宝箱を見つけたゼロ

ロックマンゼロ「中身は……冷凍銃」

冷凍銃

それはハンターを一分半の間に凍らせることができる便利なアイテ
ムだ

ロックマンゼロ「一応身を隠すか

ゼロはベルに身を隠す

ラフィーナ「早く東のショッピングモールにいかないと

ロックマンゼロ「あれば、ラフィーナか

そしてゼロはラフィーナを見かけた

そして彼女の後ろにハンター

まだ彼女は気づいていない

そして

ハンター「！！」

見つかった

ゼロ「ん、じつに来ている・・・」

ハンターとラフィーナとの距離は縮んでいく

それへ

ザッ

ゼロが堂々と自分から飛び出してきた

ラフィーナ「え！？」

ロックマンゼロ「ハア！！」

ブショ――――

ゼロはさつき手に入れた冷凍銃を使った

そして

ハンター、フリーズ

ロックマンゼロ「・・・」

ラフィーナ「あ、ゼロさん、ありがとうございます」

「ロックマンゼロ」「気がするな」

「ラフィーナ」「新ドリッシュションが行きますの?..」

「ロックマンゼロ」「やのつもりだ

「ラフィーナ」「では一緒に行きません?..」

「構わざ」「ロックマンゼロ」

「ラフィーナ、ロックマンゼロと合流

「マッシモ」「おお、」これが指紋認証装置は

東エリアショッピングモールにたどり着いた鋼鉄のマッシモ

「マッシモ」「早速やるか」

認証完了残り18人

マッシュモ「良し！－！」

プルルルルル

マリノ「認証残り18人・・どうしようかな、私は」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 3 (後書き)

感想をお願いします

part - 4 (前書き)

認証残り18回

真司「お、これかさつき通達で言ったアイテムは」

宝箱を見つけた仮面ライダーの一人

真司「中身は・・・ん? これハンターがかけているサングラスじゃ
ん、お、紙だ、なになに無敵サングラス」

真司が手に入れたのは、無敵サングラス

それは装着してから2分半間ハンターに見つからないと言つとしても
便利なアイテムだ

真司「スゲエもん手に入れたわ~ラッキーでもこれはハンターが來
てからかけよ」

もしもの時にとつておく

シナモン「私もリッシュョンに行きます」

認証装置を探しに行くシナモン

だが彼女の後ろの短距離にハンター

そして

ハンター「…」

見つかった

シナモン「…キヤアー！」

ポン

シナモン確保残り93人

シナモン「捕まってしまいました・・・」

ブルルルル

連「確保情報・・・」

リデル「南エリアにて・・・」

首領パツチ「シナモン確保」

マリノ「シナモンが！！」

スペイダー「シナモンが捕まってしまったか」

エックス「良し、見つけたぞ！！」

りんご「早く認証しよ」

この2人もたどり着いた

そこへ

伊達「お、エックスちゃん、それにりんごちゃんも来てたのか」

りんご「あ、伊達さん、後藤さん」

エックス「後藤さん達も認証に」

後藤「当然だ」

そしてバースコンビもたどり着いた

伊達「じゃ、早速認証しますか」

ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

そして後藤、エックス、りんごの3人も指紋を認証した

認証完了残り14回

伊達「じゃ、また会おうぜお2人さん」

伊達はそう言いながら後藤と一緒にエックス達と別れた

りんご「私達も行こう」

エックス「そうだな

プルルルルル

ファルコ「お、認証残り14回」

ナックルズ「一気に4人やつてくれたぜ」

シルバー「これってクリアになりそうじゃねえの」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 4 (後書き)

感想お願い致します

part - 5 (前書き)

認証残り14回

part - 5

翔太郎「見つけたぜ、認証装置！！」

ドンキー「早速認証しようぜ…」

ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

認証完了残り12回

プルルルルル

アクセル「残り12回もつ8人もやつたのか」

翔太郎「なあ、ここで一日別れねえか」

ドンキー「そうだな、」

翔太郎「じゃあなドンキー」

翔太郎とドンキーは別れた

天道「東エリ亞まであともう少しか」

認証装置を探しに行く、天の道をいき総てを司る男

だが彼の後ろにハンター

天道「ん、ハンターーー！」

天道はいち早くハンターに気付き早足で逃げる

だが

ハンター「！！」

見つかった

天道「見つかったか、だが！！」

天道はスピードを上げハンターとの距離が開いていく

ハンター「・・・」

見失つたようだ

天道「・・・フン」

どいつやら余裕だつたようだ

アミティ「見つけたよソニックー！」

ソニック「良し、早速認証しようぜーー！」

認証装置にたどり着いたソニックとアミティ

ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

認証完了残り10人

プルルルル

マリオ「お、認証残り10回」

ブレイズ「私も早くいかないと」

シルバー「とうとう10回までいったか」

だが彼の後ろにハンター

ハンター「！！」

見つかつた

シルバー「ん？ヤベホー！」

シルバーは気付き逃げる

そこへ

ワリオ「またかよ！！」

ワリオがまた巻沿いを食らつた

標的はワリオに変わつた

そして

ポン

ワリオ確保残り92人

ワリオ「2度田じやねえか、ふざけんな!」

ブルルルル

ファルコ「確保情報」

メタナイト「西エリアにて・・・」

シャドウ「ワリオ確保」

フォックス「お、あのバカが捕まつた」

テテテ「わしらの事下僕と言つた奴など知つたこっちゃないゾ」

翔太郎「お、あんた確かパラガスだっけ?」

パラガス「おお、左か」

偶然パラガスを見かけた翔太郎

翔太郎「何やつてんだ？」

パラガス「それより聞きたいことが」

翔太郎「なんだ？」

パラガス「ここ、どこ？」

翔太郎「え？ ここは南エリアだぜ」

パラガス「ああそつか」

翔太郎「ちょっと待て、まさか・・・」

パラガス「道に迷つた（泣」

翔太郎「ええ～！！いい大人でしかも親が迷子になつたのかよ」

パラガス「普通にいえばそう言つ事になる」

翔太郎「うわ～、情けなッ！！」

翔太郎「まあこれで道が分かつただろ、じゃあな」

翔太郎は走つていった

パラガス「まさかこの親父が2度も迷子になるとは」

ルイージ「あと9回か」

悟空「お、認証残り9回」

フルルルル

認証装置残り9回

△、△、△、△、△、△、△、△、△

認証装置にたどり着いたシャドウ

シャドウ「これが認証装置は」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 5 (後書き)

感想をお願いします

part - 6 (前書き)

認証元アマまで残り9回

天道「見つけたぞ、認証装置」

認証装置にたどり着いた天道

天道「認証するか」

ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

認証残り8回

プルルルル

ルージュ「認証残り8回」

ルルー「私もいこうかしら」

土「ハンターが、ここは隠れるか」

ハンターをいち早く見つけ身を隠す門矢士、仮面ライダーディケイド

土「ん？ あれは確かアコールで人か、後ろにハンターがいること気づいていないな」

アコール先生「認証装置まで向かいませんと」

まだ気づいてない

ハンター「！！」

見つかった

アコール「東エリアは・・・、ハンター！！」

そしてアコール先生もハンターに逃げる

土「やつぱり気づかれたか、しょうがない」

土はそういうながら冷凍銃を持って向かつた

どうやら数分前に冷凍銃を手に入れたようだ

ハンター「！！」

標的は土へと変わった

土「驗'りやーー。」

ブシュー――――

ハンター、フリーズ

土「まあ、こんなもんか」

アコール先生「ありがとうございます、土さん

土「別にいいって」

アコール先生「土さん、ミッ・・・」

土「言いたい事はだいたい分かってるミッションの方は行くかだろ、勿論そのつもりだぜ他のライダーも行く奴が多いだろうしな」

アコール先生「では一緒にいきませんか？」

土「別にいいぜ」

士、アーノル先生と合流

海東「これだね認証装置は・・ん?」

真司「やっと着いた

照井「ここだな

トランクス「あ、海東さん

海東「やあ君達も来たのかい」

照井「当たり前だ」

真司「早く認証しようぜ」

海東「まあ、待ちたまえ、僕が先だ」

ピッ、ピッ、ピッ、ピ――――――――――――――

そして照井、真司、トランクスの3人も認証をした

認証残り4回

プルルルル

リデル「認証残り4回」

ルルー「もう4回も、早いわね」

クルーケ「これはミッショングクリアになる可能性が高いね」

だが彼の後ろにハンター

ハンター「！！」

見つかった

クルーケ「……ん？ウヒヤヒヤ
――！」

クルークもいち早く気付き逃げる

そこへ

ウイック「ちよ、なにハンター連れ込んでんのーー！」

ウイックが巻沿いを食らつた

そして2人とハンターの距離は縮んでいく

そして

クルーグ「ウヒヤヒヤ

――――――――――

ウイツチ「オイツス

――――――――――

ポン

クルーグ、ウイツチ確保残り90人

プルルルル

蓮「確保情報・・・」

ドラゴンエリ亞にて・・・」

ナックルズ「クルーケ、ウイツチ確保」

ベクター「ふよふよ系が一気に2人捕まつたぜ」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 6 (後書き)

感想をお願いします

part - 7 (前書き)

認証元へまで残り4回

現在225分、

ハンター20体放出まで残り5分

ゼロ「良し、着いたぞ」

東エリアショッピングモールにたどり着いたゼロ

そして

ルイージ「あ、ゼローー！」

ゼロ「ルイージか、お前も認証を」

ルイージ「うん、皆のため」やね」「うれしくね」

「ひじかわすが、じめにかひやる」口ば

そしてルイージも認証をした

認証残り2回

プルルルルル

スパイダー「認証回数、残り2回」

ドラコ「もう2回も…? 時間はあと5分もあるよ」

シグ「早いな〜」

リュカ「もう2回が行こうかな〜」

ミッションの事を考へているリュカ

だが彼の近くにハンター

リュカ「う~ん」

ハンター「・・・！」

見つかった

リュカ「・・ん？やばいーー！」

リュカもハンターに気付き逃げる、だがハンターとの距離は縮んでいく

そして

リュカ「うわあーー！」

ポン

リュカ確保残り89人

リュカ「ハンター、早すぎる」

プルルルル

リデル「確保情報・・・」

ボーボボ「西エリアにて・・・」

マッシュモ「リュカ確保」

ネス「リュカが！」

スネーク「あいつ、捕まってしまったのか」

士「ここか、指紋認証装置があるショッピングモールは」

アコール先生「早速認証しましょう」

この2人もたどり着いたようだ

ピッ、ピッ、ピッ、ピ---

認証完了、ミッションクリア

プルルルル

シェゾ「メールだ・・」

サタン「ミッションの結果・・・」

悟飯「シルバー・ザ・ヘッジホッグ、マッシュモ、伊達明、後藤慎太郎、エックス、あんどうりんご、左翔太郎、ドンキー・コング、ソニック・ザ・ヘッジhog、アミティ、シャドウ・ザ・ヘッジhog、天道総司、海東大樹、城戸真司、照井竜、トランクス、ゼロ、ルイージ、門矢士、アコール先生の20名によつて・・・」

ベジータ「ミッションクリア」

ディディー「お、ドンキーもやつてくれた」

ロックマンゼロ「もう一人の俺もやつたのか・・・」

リデル「先生もやつてくれたんですね」

「マコノ、お、マジシサウルス

シゴゾ」てか、仮面ライダー組がミシショントンヒーに会った奴多いな～

孫「さすが仮面ライダーとこだね

ミシショントン無事クリア

セツヒ次回へのシジョンかそれとも通達か

part - 7 (後書き)

感想をお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9383z/>

ギャグありシリアルありバトルありのお気に入りキャラで逃走中
2012年1月5日22時47分発行